

令和6年度 教育活動関係者評価

藤枝順心高等学校附属幼稚園

1 幼稚園の教育目標

教育目標 豊かな心とたくましい体を持った子
重点目標 思いやりのある子 がんばりのきく子 挨拶のできる子

2 評価項目の達成及び取組状況（評価 A：十分達成 80%以上 B：達成 79～60% C：成果がやや足りない 59～40% D：不十分 39%以下）

(1) 指導領域の評価

評価の項目と主な観点	職員評価		評価の理由(成果や課題・改善策)	関係者評価
① 健康安全・体力の向上 ・朝のマラソンや運動遊び等による体力や運動能力の向上 ・健康で安全な生活をしようとする態度や習慣 ・様々な食べ物に興味を持ち進んで食べようとする意欲	A	92.1%	◇昨年度より 3.5 ポイントあがった。本園ならではの大きなグラウンドでマラソン体操ができることで、確実に走る力やたくましい体づくりができていますと評価している。多くの学年でマラソンの他にも走ることを継続し、体力向上に努めている。年間通してマラソンをやりたいが、近年の猛暑によりできない日も多くなっているのが残念である。2 階プールに日よけシェードを設置したため、猛暑でもプール遊びができたことも評価された。 ◇走ること以外は、外部指導者による体操教室に依存している実態があるため、もっと自分たちで運動に取り組んでみたいと考えている先生もいる。	A
② 人間関係・自立心 ・ものごとの善悪や決まりの大切さに気付いて行動する態度 ・友達の気持ちを大切にしようとする態度 ・人とかかわる楽しさを感じ、一緒にやろうとする態度	A	90.0%	◇昨年度より 4.2 ポイント上がった。幼児の人間関係は担任が意図的に関わるのが大切であるが、子ども同士で起きた小さなトラブルをよい機会ととらえ、学年の発達段階を考慮しながら自信を持って担任が指導している。また、行事をうまく活用していることもわかる。 ◇満3歳児での発達に課題を抱えた子どもへの対応が課題となっている。	A
③ 言葉 ・自分の思いを言葉で伝えようとする態度と力 ・話を聞こうとする意欲や態度 ・読み聞かせを楽しむ	A	90.0%	◇昨年度より 3.1 ポイント上がり、十分達成された。幼児は語彙が少ない年齢であるが、園では自分の言葉で思いを伝えることを子ども達に指導している。また、話す聞くことを大切にしている、保護者からの評価も 93% と高い。 ◇英語サイードリームは、一部学年では比較的継続的に取り組めたが、他学年は行事に追われなかなか継続的に取り組めていないのが現実である。保護者からは継続した取り組みを望む声が多い。	A
④ 表現 ・活動に興味や関心を持って取り組み心を動かされる姿 ・自分の思いを自分の方法で楽しみながら表現する喜び	A	92.4%	◇昨年度より 3.0 ポイント上がり、十分達成できている。本年度は、絵画活動と発表会の劇を中心に取り組んだ。とくに絵画（Happy Art）は2年目の取り組みであり、先生の指導も根付いてきたと感じている。 保護者評価は 99% と非常に高く、評価する意見も多かった。	A
⑤ 環境 ・園内外の動植物に興味関心を持って接しようとする態度 ・野菜や花の成長を喜び、世話をしようとする態度 ・環境とかかわって遊んだり遊びをつなげたりする態度	A	86.3%	◇昨年度とほぼ同じであった。自然環境という点では市街地にあるため難しい問題であるが、園外や高校の庭に計画的に散歩し、植物や虫を観察させてきた。また、プランターで育てたり工夫をして子どもに提供している。保護者の評価は 88% と高い。 ◇畑を借り、野菜の栽培をしているが子どもにとってはとてもいい体験になっている。 ◇ビオトープがコンクリートのため、本来の機能を果たせていない。	A

(2) 園の重点目標や活動についての評価

<p>1 がんばりのきく子 ・困難なことがあっても最後までやり遂げようとする姿</p>	A	91.6%	<p>◇昨年度より 0.4 ポイント下がったが、十分達成された。保護者の評価も 97% と高い。朝のマラソンや運動会、発表会、チャレンジウォークなど最後まで頑張り抜くことが求められる行事が多く、大きな成果をあげることができた。 ◇チャレンジウォークでは、ほぼ全員が蓮華寺池公園まで歩き通すことができ、自信につながっている。保護者も大変驚き、評価する声が大変多い。反面、安全面の心配や保護者負担が大きいと否定的な意見も出ているのは残念。</p>	A
<p>2 思いやりのある子 ・友達のことを気遣い友達の気持ちを考えて行動する姿</p>	A	91.6%	<p>◇昨年度より 2.1 ポイント下がったが十分達成できている。普段、保育や行事を通して友だち関係づくりを進めているが、思いやり溢れる優しい行動が多く見られる。保護者の評価は 97% と高く、園の指導を評価している。 ◇課題としては、支援を要する子どもが関わるトラブルにどう対処していくかである。</p>	A
<p>3 あいさつのできる子 ・自分から挨拶したり挨拶されたら挨拶を返したりする姿</p>	A	86.8%	<p>◇昨年度より 3.9 ポイント上がった。近年挨拶は課題となっていたが、「あいさつの木」など学年での取り組みが成果となって表れている。ののさまや始業式などでは大変元気のよい挨拶ができる。 ◇課題としては、挨拶ができる子、できない子の差が大きいことである。また、登園時などでは先生が挨拶しても返せない子どもも依然としている。保護者の中にも挨拶できない、また返せない人がいるので今後も啓発していきたい。</p>	A
<p>4 行事の評価 ・様々な行事での園児の姿、行事の計画・運営等の評価</p>	A	92.6%	<p>◇昨年度とほぼ同じであった。比較的行事が多い園ではあるが、職員が子どものためによい行事にしようとし楽しみながら取り組んでいることがわかる。また、行事により子どもが成長していることの手応えも感じている。保護者の評価も 99% と非常に高く、満足度が高いことがわかる。 ◇課題としては、行事に追われているため、帰宅時間が遅くなっているため、職員の健康状況も考慮し、改善していく必要がある。</p>	A
<p>5 個に応じた指導 ・園児の理解に努めそれに応じた指導ができたか</p>	A	92.1%	<p>◇昨年度より 0.7 ポイント上がった。年々支援や配慮を必要とする子どもが増えてい中で、ひとりひとりの子どもに丁寧に対応していることがわかる。また、学級補助の先生が増えているため、活動につまずいている子どもへ個別対応ができることも大きい。 ◇課題は支援を要する子どもが年々多くなっていることである。 ◇保護者からの評価は 95% という高い。保護者からは、どの先生からも子どもが大切にされていることを実感している旨の意見が多数あった。</p>	A
<p>6 地域の施設や人材、自然を生かした指導 ・地域理解に努め地域を生かす指導ができたか</p>	A	81.3%	<p>◇昨年度より 1.1 ポイント上がった。畑(仲田さん)を利用しての野菜作りや学園の庭散歩や園外散歩を評価する声が多い。また、チャレンジウォークに対しても職員・保護者ともに大変高く評価されている。 ◇課題として、猛暑により 6 月～10 月までなかなか外出できないことがあがった。また、園外保育が他の行事との関係で 3 学期に集中してしまうことも課題である。保護者の評価 93% と高く、限られた環境の中でも質の高い保育をしていることを評価してくれている。</p>	A

7 保護者への対応や連携 ・保護者への連絡や対応、連携が適切であったか。	A	92.4%	◇昨年度より 0.4 ポイント上がった。職員は、些細なことであっても丁寧に保護者へ伝え、連携を図る努力したことが大きい。保護者の評価は 90% と高い。 ◇課題はお知らせや連絡についてである。保護者から、お知らせや連絡についての統一や表記、誤りについて指摘する意見が多く寄せられた。今後はより丁寧に直すことや、コドモンでの効果的連絡のあり方を検討したい。	A
8 園内研究や研修の推進 ・指導力や保護者への対応力向上等の研修ができたか。	A	90.0%	◇昨年度より 2.4 ポイント下がったが達成できた。昨年度から取り組んできた絵画研修 (Happy Art) に自信を深めていることがわかる。反面、講師がいなくなった際に、どのように研修を継続していくかも課題としてあがった。また、絵画以外の保育 (運動など) についても研修していきたいという意見もあった。	A
9 校務分掌の適切さ ・仕事量と人数が適切で効果的な分掌となっていたか。	A	82.9%	◇昨年より 7.1 ポイントと大幅に下がった。全体評価としては達成できているが、職員は分掌によって仕事量に差があることや、行事に振り回されて多忙感を感じている。とくにメイン行事である運動会、発表会、作品展を担当した職員が多忙感を強く感じていることがわかる。分掌の仕事の平均化や適切な配置をしたいが、これまでと同じ行事であれば、変わらないこともあり頭が痛い課題である。	A
10 魅力ある園づくり ・就園先として選択される園づくり	A	91.6%	◇昨年度より 1.7 ポイント下がったが達成できている。保護者の意見に「数ある園の中から順心を選んで本当によかった」というものがあつた。他にも同様の意見が多数あることから十分達成できていると考える。また、職員も自信を持っている。 ◇少子化が進み、満 3 歳児の来年度入園児が減少してきた現実には危機感を持って受け止めていかなければならない。 ◇園児数の減少と反対に、預かり保育の利用者は急増している。保護者が魅力ある園と考える要因のひとつに預かり保育も含まれることが、際限なく受け入れることも難しいが、預かり保育を検討する時期にきていると考える。	A

3 本年度の重点 「笑顔あふれる幼稚園」

1 笑顔あふれる保育や行事を提供できたか	A	94.2%	◇昨年度とほぼ同じであり、十分達成できている。職員は多忙感を訴えながらも、楽しみながら子どもの笑顔があふれるよう保育や行事を計画することができた自信を持っている。保護者の評価は 99% と非常に高く、園の取り組みを評価している。	A
2 子どもは笑顔で園生活を送っているか	A	95.3%	◇昨年度より 1.3 ポイント下がったが十分達成できた。子どもにも Smile Smile が定着している。1 の項目の子どもが笑顔で生活できる保育や行事を提供できたことが子どもの姿として表れ評価されたことがわかる。 ◇保護者の評価は 99% と高評価であった。しかし、たった 1 人であるが、笑顔で生活していると思わないと回答している保護者がいる。たった 1 人であるが、原因を分析し、その 1 人を笑顔にできるよう努力していきたい。	A

3 教職員は笑顔で子どもや保護者に接しているか	A	98.4%	◇昨年度とほぼ同じであり、十分達成できた。 Smile Smile Smile を合い言葉に経営を進めて6年目であるが、確実に定着した。全職員が Smile Smile Smile を意識し、自信を持って保育しているのがわかる。それが保護者へも伝わり 100%という驚くべき評価になって現れている。保護者の自由記述には職員の笑顔に対する好意的なものが多数寄せられている。	A
-------------------------	---	-------	--	---

4 総合的な評価結果(園内評価委員会の評価を記載)

評 価	理 由
A	<p><評価委員会の評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Smile Smile Smile の理念はとても素晴らしい。今後も継続していくことが大切である。 ○昨年より評価ポイントがあがっている項目が多く、職員が意欲的に業務あたっている表れであり素晴らしい。これだけ園児が多い園でありながら、保護者評価も大変高いのは、取り組みが適切であることの証である。 ○保護者の意見には行事について内容や時期の見直しを求めるものがあるが、全ての保護者が納得する回答はない。園として改善することは必要であるが、子どもを育てるうえで何を一番大切にするか、譲れないものは何かを明確にして、丁寧な情報公開と説明をすることが求められる。 ○近年の異常気象を考えると、子どもの安全安心を第一に考える必要はないだろうか。行事の見直しをする時期にきていると思われる。 ○学校評価をビジュアル化（グラフ化）し、見やすくすることが大切である。 ○園のランドデザインに、評価の反映と目標を明記したい。 ○幼稚園教育を小学校へつなげるためにも連携が求められる。 ○職員の働き方改革が求められるが、多忙感と多忙とは別物である。多忙感は正当に評価されていないという感情からくるものでもある。子どもと同じで職員もほめて伸ばしたい。